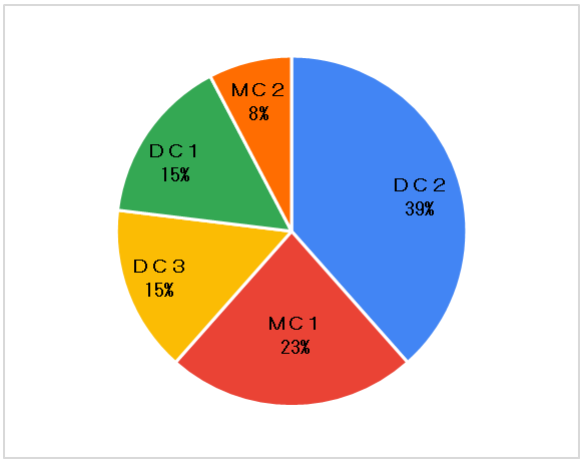
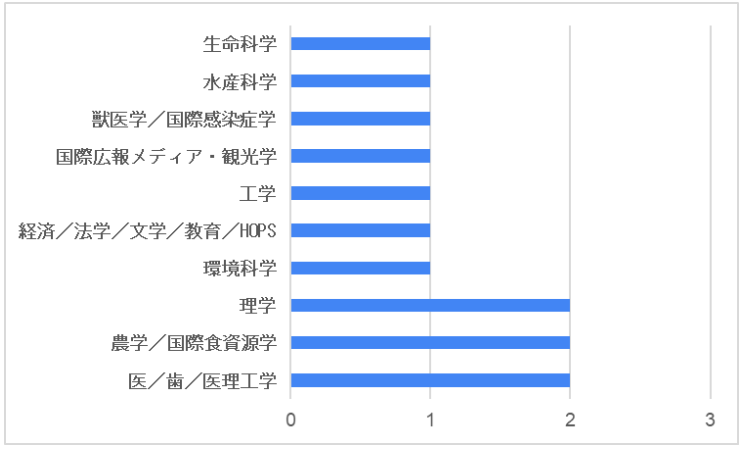
2025 年度 キャリアパス多様化支援セミナーⅠ プロジェクトファシリテーション
アンケート集計結果

日　　時：2025 年 6 月 26 日（木） 13:00～17:00
場　　所：学術交流会館 第 1 会議室
参加人数：17 名（MC 8 名、DC 9 名）
回 答 数：13 件

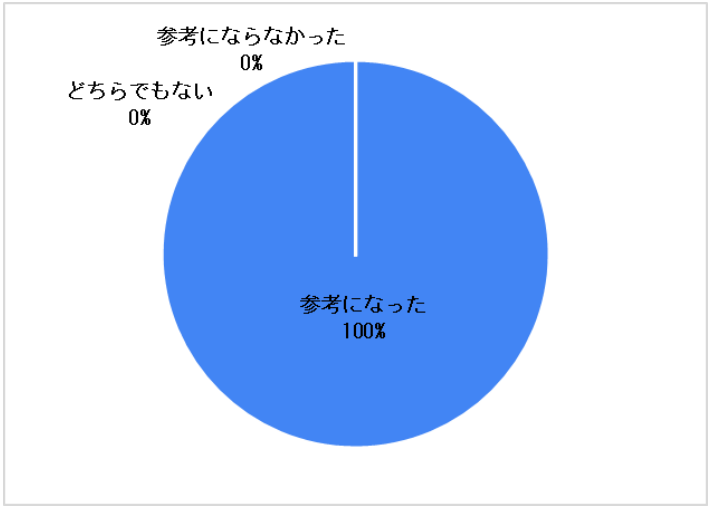
学　年



所　属



1. 本セミナーは参考になりましたか？

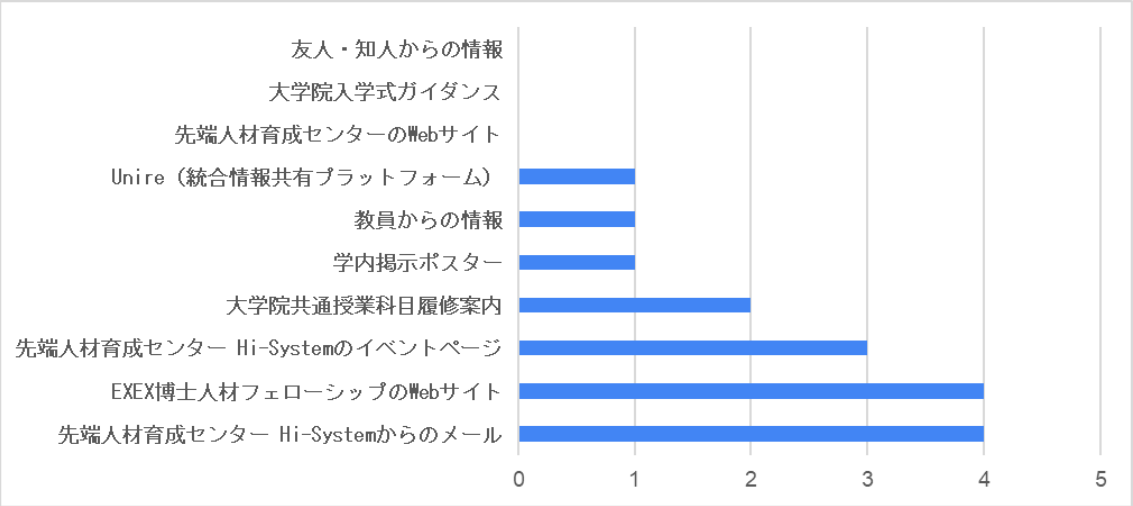


1-1. 上記 1 にて【参考になった方】どの点が参考になりましたか？（具体的に）

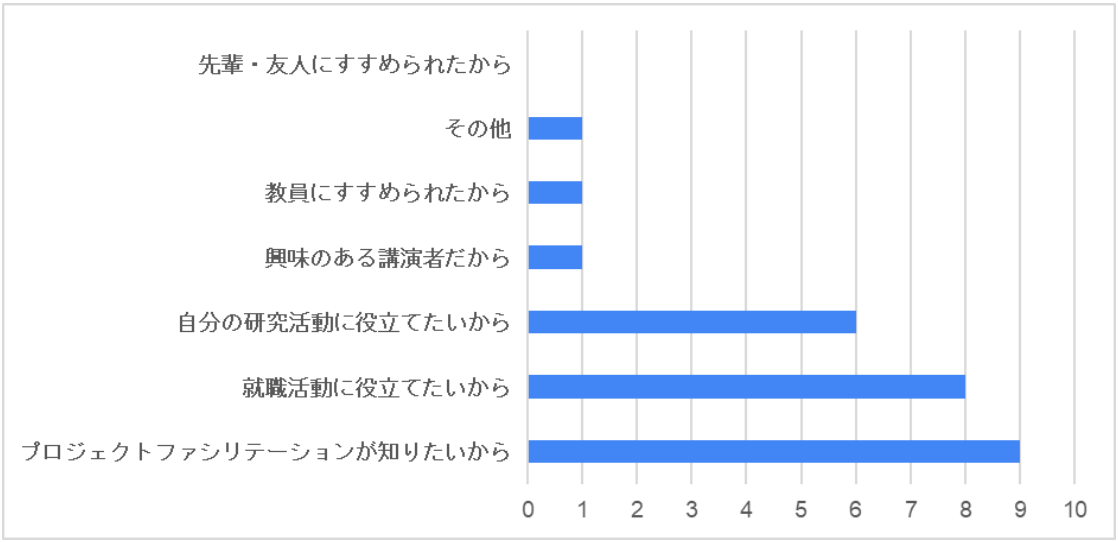
ファシリテーションを円滑に進めていくためには、単なる討論ではなく、討論の「流れ」が重要であることを改めて実感しました。その流れとしてまず大切なのは、議題とゴールの設定です。それを会議の参加メンバーに明確に共有することも不可欠です。また、議題に関する事前準備や、参加者の意見にしっかり耳を傾ける「傾聴」の姿勢、そして合意形成のプロセスも非常に重要だと、今回の講義および演習を通じて学びました。事前準備がなければ、議論を円滑に進めることはできません。そのため、事前の情報収集や論点の整理は欠かせません。さらに、準備をしたうえで、最初から提案を提示するのではなく、まずは参加者一人ひとりの意見を聞いた後に提案を行い、それを基に議論を進めるという進め方も有効ではないかと感じました。
ファシリテーションは準備が命ということ。

終了条件を決めることの重要性がよく理解できた
ファシリテーションの具体的な方法、準備の仕方が参考になりました。
実用的な議論の進め方を学べた。準備や構成のフォーマットは大小問わずどんな議論でも応用できる。
会議を行う上での事前準備の大切さとその指針となるシートがとても参考になりました。
会議の事前準備やファシリテーションのスキルは、研究室や職場でも役立つと感じました。
実際にミニ会議を体験することで、会議を主導（または隠れファシリテート）するにあたり、会議の目標や時間配分を明確に決めておくことで迷いにくくなり、会議の参加者全体がより有意義な議論をしやすくなるということが改めて分かった点。
準備がすべてだということ．事前に論点を整理しておけば，議論が迷子になることはないし，すべてが決まらなくても一定の進捗は生み出せるので，非常に生産的な会議を作ることができることが分かりました．参加者に提案を求めるときに，まずは自分の提案をする（たたき台を作っておく）ことが重要だと思いました（感覚的にはわかっていたけど，改めて実感）．私はいつも準備不足です．これまでは，なんとなく形になっていた（と自分が思っていただけかもしれない）のですが，いつまでもその場の雰囲気で乗り越えられるわけではないので，今後は必ず論点の整理をしてから会議等に臨もうと思いました．
ファシリテーションにおける事前準備の重要性

2. 本セミナー開催について、どのように知りましたか？（複数回答可）



3. 本セミナーの参加理由（複数回答可）



4. プロジェクトファシリテーションを日常もしくは研究の中でどのように活用したいですか？

今後は、今回学んだファシリテーションのスキルを、例えば学会のテーマ設定や準備会議などに活かしていきたいと考えています。
特に利害や価値判断が絡む対話でも、うまく参加者が論理的にも感情的にも納得できるようにファシリテーションできるようになりたい。
教授とのディスカッションの際にあらかじめどういう目的かなどを決めておくとスムーズに進行できそう
普段の授業のグループワークで、議論の際に活用したいと思います。
研究室ミーティングやプライベートでのイベント開催に役立てる。
日常の話し合いで、相手の意見を引き出す場面で使えると思います。
研究に関するディスカッション．旅行計画の会議． いつも長くなりがちなので，あらかじめ設定した時間内に終わらせるようにしたい．
先生や学生との研究打ち合わせ。催し事などの打ち合わせ。

5. 本セミナーについてのご感想、または主催の先端人材育成センター-cubic へのご意見・ご要望など（自由にご記入ください）

大変実践的で勉強になりました。ありがとうございました。
大変興味深い内容で、少しでも実践に取り入れたいと思いました。ありがとうございました。
セミナーの最後に，本セミナーの組み立て方・進行に関するスプレッドシートを見せていただいた．プレゼン資料を作って終わりではなく，ファシリテーションにおける重要な行為（傾聴など）を参加者に体験させる，グループワークのまえにアイスブレイクを設けるなど，学習効果が最大限発揮されるように設計されており，そこまでの準備をされていることに驚いた．自分の普段の準備の水準を上げねばと強く感じた．